

新 着 資 料 の 紹 介

資 料 室

1) В. Г. Сагунов (1971) : 「Геология агрономических руд Казахстана (カザフ共和国肥料用鉱石の地質)」, カザフ共和国「ナウカ」出版所, 190 p., 図32, 表19, 文献120, 26.5×17.5 cm (露文)

目 次

第1章 カザフ共和国肥料用鉱石の研究の現状

第2章 磷酸塩鉱物資源

1. 磷酸塩鉱物の層位, 含磷灰土盆地の地質構造, 大型磷灰土鉱床の地質構造

A. 地向斜性磷灰土

ウルタウ地方のウェンディア期一下部カンブリア紀の磷灰土とアルモ磷酸塩 マルイ=カラタウ山脈・中部カザフ地方のカンブリア紀磷灰土 北カザフ地方オルドビス系中の磷灰土・磷酸塩岩 シルル系・デボン系中の磷灰土 中部カザフ地方・北カザフ地方石炭紀含磷灰土堆積層

B. 白堊系・古第三系の卓状地性磷灰土

アクチュビンスキー 沿ウラル磷灰土盆地

C. 鉄鉱体・バナジン鉱体・カーボナタイト中の磷灰石などの磷酸塩

2. カザフ共和国主要磷灰土分布地域の構造地質上の位置

3. カザフ共和国の磷灰土その他磷酸塩生成体の成因的分類

4. 磷酸塩系主要造岩成分の分布規則性

5. 磷酸塩資源の総括

第3章 カリ, 窒素, マグネシア, 硫酸鉱物資源

1. カリ原料

2. 窒素原料

3. マグネシア原料

4. 硫酸原料

第4章 微量元素—植物の成長促進剤とその原料産地

第5章 石膏—含塩土壌改良の効果的薬剤

第6章 パーミキュライト,

カザフ共和国肥料用鉱石開発の展望

2) И. В. Лучицкий (1971) : 「Основы палеовулканологии (古火山学原論)」, 第1巻, 第2巻, ナウカ出版所, 26.5 × 17.5 cm (露文)

第1巻: 現世の火山: 目次 (図174, 表60, 文献850)

第1章 火山の分布

序説 地球上の活火山分布に関する一般概念の発展 活火山分布概観

第2章 火山の噴火

序説 火山噴火の分類に関する見解の発展 地上の火山噴火 海底の火山噴火 火山噴火に伴う現象 熔岩の力学的性質, 揮発成分の組成と火山噴火機構に関する諸概念

第3章 火山活動生成物とその分化過程

序説 火山活動生成物の研究史とその分類問題 火山爆発, その生成物と火砕物の分化過程 熔岩の溢流とその固結生成体 タフ・ラバーとイグニンプライト 火山作用過程におけるガスと水の役割

第4章 火山の形態 (堆積形態)

序説 火山の形態研究史 火山円錐丘 楕状火山と火山台地 火山性ドーム

第5章 火山の形態(崩壊形態)

序説 カルデラ研究史 カルデラ 火山性構造 カルデラ成因論と火山性構造陥没 マールと潜在火山構造

第2巻:古火山:目次(図141,表10,文献784)

第1章 火山の根源

序説 火山と深部マグマ留との関係に関する見解の発展 現世火山の根源帯 古期火山の根源帯環状構造,岩脈,層状体の生成機構

第2章 古火山のタホノミーと火山相学の問題

序説 タホノミーと火山相学の問題に関する見解形成史 古火山のタホノミーの一般的諸問題 火山源生成体の相変化性

第3章 火山源生成体

序説 「フォーメーション」の概念に関する見解の進化 火山フォーメーションの分類問題 火山源堆積フォーメーションの諸タイプ 海水盆火山源岩の岩石化学的共存関係と火山区 成層火山源フォーメーション 非成層火山源フォーメーション 火山源フォーメーションの比較

第4章 古火山の再編および火山作用と構造運動の関係の問題

序論 古火山の復活および火山作用と構造運動との関係に関する見解の発展史 古火山の復活 古火山の動態 古火山と地質構造との年代学的関係

まとめ

3) **З. А. Крутиховская (1971)**:「Глубинное строение и прогнозная оценка Украинской железорудной провинции (ウクライナ鉄鉱床生成区の深部構造と予測的評価)」,「Наукоба Довумка」出版所,206 p., 図90,表1,文献288, 26.5 × 17.5 cm (露文)

目次

第1章 地質・地理研究概観

第2章 ウクライナ楕状地とロシア卓状地南部の構造中でのウクライナ鉄鉱床生成区の位置

第3章 先カンブリア紀構造地質研究への地球物理学的データ利用の原則

地球物理学的データによる先カンブリア紀褶曲構造・断裂構造の研究

第4章 地球物理学的データによる鉄鉱床の予測的評価法

含鉄珪岩の地質図化と鉄床の構造の研究 地球物理学的データによる鉄鉱体組成の近似的評価 クリボイ・ログ型富鉄鉱の探査法 向斜構造の下限の判断

第5章 先カンブリア紀基盤面の形態

第6章 褶曲構造

クリボイログ・クレメンチュウク構造相帯 ベルホフツェフスクーチョルトムリク構造相帯 スウルスクートマコフスク構造相帯 コンクスクーペロゼロ構造相帯 オレホボーパブログラード構造相帯と西沿アゾフ海地域

第7章 断裂構造

深在断層 広域断層と多割れ目帯

第8章 地殻の構造

地球物理学的データによるウクライナ楕状地東部の地殻の構造 重力場による地殻の構造の研究法 モホロビッチ面の形態および地質構造面と地殻深部構造との関係

まとめ

4) **М. В. Гзовский (1971)**:「Математика в геотектонике (構造地質学における数学)」,「ネー

ドラ] 出版所, 239 p., 図76, 表2, 文献228, 27 × 18 cm (露文)

目 次

序論

I 地殻の構造研究の場合の幾何学

地殻の構造諸元

地殻内の構造諸元

褶曲

褶曲の基本概念

褶曲の判定 褶曲の諸元 非次元褶曲係数

断面での褶曲

褶曲の解析的記録の課題 座標とその転換 一次直線による褶曲の近似化 二次曲

線による褶曲の近似化 その他の曲線による近似化 非対称性褶曲の記録

空間での褶曲

褶曲の解析的記録 地形面による褶曲の記録 重複褶曲の記録

断裂

断裂の基本概念

断裂の判定 断裂の構造 断裂の諸元 非次元断裂係数

断裂の真の落差の測定

断裂の幾何学的タイプ

断裂群の記録

凡地殻的構造諸元

地殻の海洋部分

地殻の大陸部分

II 地殻の構造および造構造運動の研究における微分学と積分学

微分の素量

構造地質・構造物理領域における微分学応用例

構造運動の速度 構造運動の速度勾配

積分の素量

構造地質・構造物理領域における積分学応用例

構造運動の量的特徴 岩石の対数変形 造構造過程のエネルギー

III 構造運動, 地殻の変形・応力の研究におけるベクトルとテンソルの計算

スカラー, ベクトル, テンソル

応力のテンソル

場の数理論の諸元

スカラー場 ベクトル場 2元テンソル場

構造地質・構造物理領域におけるスカラー場・ベクトル場・テンソル場応用例

IV 構造地質・構造物理領域における数学の適用

まとめ

5) Л. А. Борисенко (1971): 「Геохимия галлия (ガリウムの地球化学)」, モスクワ大学出版所, 228 p., 図33, 表96, 文献382, 22 × 15 cm (露文)

目 次

第1章 ガリウムの地球化学研究史

第2章 ガリウムの物理的性質と化学的性質

物理的性質 ガリウムとその化合物の化学的性質 ガリウム鉱物 ガリウムの精錬 ガ

リウムの用途

第3章 隕石中のガリウムの分布

第4章 火成岩中のガリウムの分布

岩石試料採集法と単鉱物分離法 分析法 超塩基性岩 塩基性岩 中性岩 酸性岩
アルカリ岩 火成岩中のガリウムの分布規則性

第5章 主要造岩鉱物中のガリウムの分布

斜長石 カリ長石 かんらん石・輝石・角閃石 黒雲母 隼長石 副成鉱物

第6章 堆積岩中のガリウムの分布

砕屑岩 粘土質岩 ポーキサイト中のガリウム 鉄鉱・マンガン鉱中のガリウム 炭酸
塩岩中のガリウム 燐酸塩岩・珪質岩中のガリウム 土壌中のガリウム 可燃性生物岩中
のガリウム 海中のガリウム

第7章 変成岩中のガリウムの分布

広域変成岩中のガリウムの分布 接触変成岩・接触変成生成物中のガリウムの分布 気成作
用・熱水変質作用を受けた岩石中のガリウムの分布

第8章 地質諸過程におけるガリウムの挙動

マグマ分化作用と岩石の晶出作用 ベグマタイト期 気成・熱水作用期 熱水過程にお
けるガリウムの挙動 鉱床酸化帯におけるガリウムの挙動 外因性諸過程におけるガリウム

まとめ

6) Г. К. Тушинский 編(1971):「Инженерная гляциология(応用氷河学)」, モスクワ大学出版
所, 206 p., 図43, 表15, 文献92, 22 × 15 cm (露文)

目次

序論

第1部 雪と氷の機械的諸性質, 建設へのその利用, 防護策.

第1章 雪と氷の構造, 再結晶過程, 氷の生成

第2章 雪と氷の機械的諸性質

氷の変形作用・崩壊作用の規則性 氷の弾性 氷の漸伸 氷の崩壊基準 雪の硬化
雪の漸伸 雪原の流動能力と氷の硬度 迂りと裂隙への雪の抵抗

第3章 建設材料としての氷と雪

氷と雪の建設材料性 氷を凍らせる方法 氷の補強 雪の耐久力の補強 氷と雪によ
る建造体 雪・氷製建造体の強度計算

第4章 吹雪と吹だまり防止策

第2部 応用氷河学的研究対象の特徴, その利用・防御法

第5章 雪崩

雪崩の概念, その分類と分布 傾斜面における雪層の安定度 雪崩の運動のメカニズム
雪崩多発地区における技術的検討 雪崩予防策 雪崩防衛策 対雪崩施設の設計原則

第6章 氷河

氷河の概念, 氷河の運動, 氷のテクトニクス 氷河トンネル 氷・雪の人工溶融

第7章 氷石流

氷石流の地理的分布と予測 氷石流の力学とその諸元計算の問題 対氷石流対策と設備

第8章 海水盆と淡水盆の氷

海水 淡水盆の氷 氷層の流動能力 橋脚・ダムサイトへの氷層の作用

第9章 氷層面水

氷層面水の地理分布 氷層面水防護策

まとめ

7) **Е. С. Гавриленко, В. ф. Дерпгольц (1971)** : 「Глубинная гидросфера земли (地球の深部水圏)」, 「Наукоба Думка」 出版所, 271 p., 図45, 表45, 文献354, 22 × 15 cm (露文)

- 第1章 地球の水圏
- 第2章 水塩素圏 (hydrochlorosphere) に関する学問とサブテラル水 (subterral water) の内因性指標の問題
- 第3章 地球の水圏に対する外因的および内因的影響
- 第4章 深部流動体の放射状移動条件
- 第5章 地球の深部水圏エネルギーの地表出現例
アジア アフリカ オーストラリア アメリカ ヨーロッパ
- 第6章 地球の水圏深部帯の特徴
- 第7章 地球水圏の一次涵養源の分布
- 第8章 上部マントルから地殻層中への易溶融性・易揮発性成分の移動路と移動方法
- 第9章 地球水圏深部帯の2次涵養源
- 第10章 地殻玄武岩層の地質水理学的特徴
- 第11章 地球の深部水圏と炭化水素

8) **П. П. Забаринский (ほか) (1958)** : 「Нефтяные и газовые месторождения Китайской Народной Республики (中華人民共和国の油田・天然ガス田)」, 国立石油・燃料鉱業文献出版所, 111 p., 図69, 表2, 22.5 × 15 cm (露文)

目 次

- I 中国の石油・天然ガス生成区のタイプと分布
 - II 沿南山生成区
酒泉油田・ガス田区 張水盆地 民和盆地 民衆盆地 阿拉善山塊
 - III 北西中国生成区
準噶尔油田・ガス田区 吐魯番油田・ガス田区 塔里木油田・ガス田区
 - IV 柴達木盆地
 - V オルドス生成区 (卓状地)
 - VI 四川生成区 (または紅土盆地)
 - VII 台湾島の油田・ガス田
 - VIII 広西生成区
 - IX 西康—西藏高原
 - X 中国東北の諸平野
 - XI 大中国平原
- まとめ

9) **С. В. Медведев (1971)** : 「Сейсмическое районирование Улан-батора (ウラン-バートル地震帯)」, 「Наука」 出版所, 203 p., 図63, 表25, 文献154, 22 × 15 cm (露文)

目 次

- 第1部 モンゴルの地震帯区分の基礎
- 第1章 地震および地震地質の研究
- 第2章 モンゴルの構造地質の特徴と地震に関係ある地質史
地体構造と地質史 高活動帯
- 第3章 モンゴルの地震に関係ある地形と新期構造地質
地形の特徴 アルタイ-天山新期構造帯 ハンガイ新期構造帯 ホブリゴル新期構

造帯 オルホン-セレンガ新期構造帯 ヘンテイ新期構造帯 東モンゴル新期構造帯

第4章 モンゴルの地震
 体感地震データ 地震計データ モゴド地震

第5章 モンゴルの地震帯区分
 研究の目的と方法 モンゴルの地震学と地震地質学の諸問題 モンゴルの地震帯分布図

第2部 ウラン-バートル地域の地質帯細分

第6章 ウラン-バートル地域の地質構造と地震
 地質構造 新期構造地質 ウラン-バートル市地域の地震の危険の判断

第7章 ウラン-バートル市の土地地質条件

第8章 ウラン-バートル地域の大地震の検討
 研究の課題と方法 1967年1月5日地震前の建造物の状態 1967年1月5日地震以後の町の状態

第9章 ウラン-バートル市地域の機器による地震観測
 地震観測組織 観測機器 データ処理法

第10章 観測にもとづく土地の地震特性
 ウラン-バートルで記録された地震のタイプ 地震等級計算 地盤のスペクトル特性の決定

第11章 砂礫地盤上の地震強度の特徴

第12章 ウラン-バートル市地域の地震帯細分様式

第13章 ウラン-バートル市の都市計画に対する勧告

第14章 1967年1月5日のモゴド地震震央帯における地震の機器観測

まとめ

10) П. В. Бабкин (1969) : 「Ртутное оруденение Северо-Востока СССР (ソ連北東辺区の水銀鉱床)」、ナウカ出版所, 182 p., 図41, 表34, 文献172, 22 × 15 cm (露文)

目次

第1章 北東辺区の地質概説

第2章 水銀鉱化作用の地質学的特徴
 鉱床概観 鉱石の鉱物学・組織・構造 深成鉱物 表成鉱物 ソ連北東辺区・ソ連各地方・外国の水銀鉱床における鉱物の比較 辰砂結晶の形態的タイプ 鉱石の組織と構造
 側岩の変質と水銀鉱化作用の地球化学的特徴 水銀鉱床の生成条件と生成期

第3章 北東辺区水銀鉱床の分類

第4章 北東辺区における水銀鉱床の分布規則と探査示徴

まとめ

11) В. И. Смирнов (1967) : 「Проблемы металлогении Советского Дальнего Востока (ソ連極東地方の鉱床形成問題)」、ナウカ出版所, 143p., 26 × 16.5 cm (露文)

目次

A. A. Николаевский : ソ連北東辺区の褶曲区基盤の断層タイプとその鉱床形成の特徴 : p. 5-16, 図1, 参22

E. A. Радкевич : ソ連東部の鉱床分布 : p. 17-30, 図1, 文献59

A. M. Смирнов : 極東の先カンブリア紀生成体とその鉱物学 ; p. 31-43, 図1, 表2, 文献34

И. П. Аверьянов ほか2名 : 活火山現象と関係あるクリル列島の有用鉱物 ; p. 44-54, 表1, 文献8

- V. A. Яромлюк : ソ連東部の鉱物資源; p. 55-65
И. С. Рожков : 金の地質学的諸問題; p. 66-79, 表 1, 文献16
Н. А. Шило, А. А. Сидоров : 東アジア火山帯の金鉱・金銀鉱化作用の主な特徴; p. 80-92, 文献35
Н. А. Шило, А. В. Ложкин : ソ連北東辺区の金鉱床; p. 93-102, 図 1, 文献 2
Н. П. Анникев, И. Е. Драбкин : Магадан州の金鉱賦存性の展望について : p. 103-106
А. В. Зильберминцほか 2 : ソ連北東辺区の錫鉱床; p. 107-116, 文献16
В. Л. Барсуков : 硫化物—錫石鉱床生成作用の地球化学的特徴; p. 117-128, 図12, 文献17
И. И. Антушевичほか 3 : Каバレовスキー鉱床生成域における錫鉱原料産地拡大の地質学的前提;
p. 129-137, 図 4, 表 1, 文献 4
В. А. Титов : ソ連北東辺区の水銀鉱化作用の特徴 : p. 138-143, 文献 7

12) **А. Олейников (1971)** : 「Геологические часы (地質時計)」, Ленинград «Наука」出版所, 111 p., 図 2, 表 3, 20 × 13 cm (露文)

目 次

地球の誕生日
石の文書——石化ということ
大昔に——地質時代の動植物人口
地質のカレンダー——花粉, ジャスパー, 相対年代目盛
リムスキー カタコンブ年代記——岩石の崩壊, コロレフ動植物園の園長
地層は語る——砂時計と珊瑚礁, Курганバトイェ, 湖と雨痕
海の塩——英国の天文学者, 海水, 海を塩化する手
神秘の放射——暗夜を照す塩, 太陽ガス, 新しい科学の誕生日
永久時計——地層の絶対年代決定法
地質時代の目盛——天上の巡礼, 地球の年代
実験室の壁の中で——トレーサー, 測光法,
意外なトラブル——寿命をかくす技術
つい最近——最近の重大事件, 高度を下げる炭素 考古学に伸びる手
何で彼らは死に絶えた?——宇宙線の流れ 爬虫類の死
我々が吸う空気——緑の世界の生命, 脊椎動物の系譜 石になった森 酸素—殺人者
銀河の脈博——大氷河作用, 成層粘土, 太陽の軌道
年輪——黄松, 丸太作りの教会, ホロピエ通り, ノブゴロド市営事業について
骨は語る——化石を調べてわかること, 鉱物とコラーゲン
石の年令——いろいろな暦法の関係について, 消えた海の贈りもの
話は天文学まで——1年の長さ400日, 珊瑚についてもう一度
道はまだ終らない

13) **Г. М. Другов (1972)** : 「Гранулитовая фация метаморфизма (グラニュライト変成相)」, Ленинград «Наука」出版所, 255 p., 図59, 表50, 文献285, 26 × 17 cm (露文)

目 次

第1章 グラニュライト・コンプレックスの地質的位置

バルチック楕状地

コラーノールウェイ帯 白海-ラプラント帯 中央カレリア帯 スペコフェナ-カレリア帯

バルチック楕状地の広域変成作用の進化とグラニュライト相に変成したコンプレックスの地質学的
位置

アルダン楕状地とジュグジルースタノボイ褶曲区

アルダン楕状地 スタノボイ帯 ツクリングルスキー帯 広域変成作用の進化とグラニュラ
イト相に変成したコンプレックスの地質学的位置

グラニュライト相に変成したコンプレックスの地質学的タイプ, 古地史と先カンブリア紀活化区
進化史におけるその位置

アルダン型 ラプラント型 ラドガ型

角閃岩相のグラニュライト相への造進転移例

第2章 チャーノッカイト

チャーノッカイトの主要成因タイプ

チャーノッカイトの岩石学的特徴

チャーノッカイトの鉱物共生関係と生成条件

第3章 グラニュライト コンプレックスの岩石学

命名法

グラニュライト相岩石の組織と組成

グラニュライト相岩石の鉱物学

ざくろ石 斜方輝石 単斜輝石 カルシウム角閃石 鉄-マグネシア雲母

グラニュライト相随伴鉱物中の元素分布

鉄-マグネシア鉱物中の $Mg \cdot Fe^{2+}$ の分布 斜方輝石-単斜輝石中の $Fe^{2+} \cdot Mg$ の分布 単

斜輝石-角閃石中の $Mg \cdot Fe^{2+}$ の分布 斜方輝石-角閃石中の $Mg \cdot Fe^{2+}$ の分布 ざくろ石

-黒雲母中の $Fe^{2+} \cdot Mg$ の分布 斜方輝石-黒雲母中の $Fe^{2+} \cdot Mg$ の分布 黒雲母-角閃石

中の $Fe^{2+} \cdot Mg$ の分布 ざくろ石-斜方輝石中の $Mg \cdot Fe^{2+}$ の分布 ざくろ石-単斜輝石中の

$Mg \cdot Fe \cdot Ca$ の分布 単斜輝石-角閃石中の CaO の分布 グラニュライト相中の鉄-マグ

ネシア鉱物の平衡

グラニュライト相の臨界反応と共生関係, 相の境界, 亜相区分の可能性

CaO に不飽和の岩石 カルシウムに富んだ岩石

第4章 角閃岩相のダイアフトレシス条件下におけるグラニュライト相

まとめ